

## 学級運営についての私の思い

昨日からいよいよ3年生としての生活が始まりました。3年生のスタートにあたり、担任としての思いをまとめました。大きく変わることはありませんが、1年間この考えで学級経営をしていきます。

### 1. 凡事徹底

1年生の時の学級目標であった「凡事徹底」を3年生でも学級経営の中心にしていきます。毎日生活する上で、当たり前前を当たり前に行うことは一番大事なことだと思います。時間を守る、約束を守る、締め切りを守る、相手を尊重する…2年生までできていたことは今後も続けてほしいと思います。特に、今年は進路関係の事務を進める上で締め切りは非常に重要です。絶対に遅れない、余裕をもつということをはがけて生活していきましょう。

### 2. 話し合いは「全員が少しずつ譲歩をして、落としどころを見つける」こと

1年生の頃から、私は「話し合い」を行っていろいろなことを決めてきました。何かを決めるとき、全員が完全に納得する内容というのは存在しません。その中で物事を決めるときは、「全員が少しずつ譲歩して、全員が少しずつ不満な落としどころを見つける」ということが大切になります。これは中学校だけで必要なことではありません。これから君たちが生きていく上で、何かを決めるときにはこの考え方が必要になります。声の大きい人の意見に決まってしまうようでは民主主義とは言えません。

今年もいろいろなことを話し合いで決めていきます。高校に行っても大切なことだと思います。ぜひ1年間で有意義な話し合いを進めていきましょう。

### 3. 仲の良い人とはより仲良く、そうでない人とも平和に暮らす

私が2年間ずっと言い続けてきたことです。9年目とはいえ、合う人も合わない人もいるのは当然です。さらに、来年高校に進学すれば今よりずっと同級生が増え、いろいろな人と活動することになります。仲の良い人と楽しく過ごすのは簡単ですが、合わない人と一緒に活動するのは大変かもしれません。それでも、お互いに嫌な気持ちにならず、平和に生活できるように付き合っていかなければなりません。

このような人間関係の作り方を、中学校最後の1年で身につけてください。そして、そのような対応を高校進学後も続けてほしいと思います。

### 4. 「やろう」と思うことは簡単、それを実行するのは難しく、続けるのはもっと難しい

デイリーライフを見ると、「テスト反省をやろうと思います」「もっと頑張っていきたいと思います」という書き込みをよく見ます。さて、振り返ってみて自分はちゃんと実行したでしょうか。

思うだけなら誰でもできます。大切なのはそれを実行することで、もっと大事なことは続けていくことです。受験勉強も、部屋の片付けも、ダイエットも、みんな同じです。やり続けるところまでくれば逆に「やらないと気持ち悪い」と思えるようになります。そこまできたら大成功です。

「やろう」と思ったら実行すること。そして続けること。一度習慣になれば、あとは何も考えなくてもそれは自分の行動になっていきます。

保護者の皆様、本年度は中学校生活最後の1年で、進路実現に向けたとても大切な時間になります。この1年を担任として、全員が自分の進路実現に向けて精一杯頑張っていけるように支援していきたいです。何かありましたらお気軽に担任に連絡ください。よろしくお祈りします。